(仮称)相談窓口自動案内及びハイリスク者へのインターネットゲートキーパー事業（自殺対策）【事業の流れ】（案）　（資料50-1）

相談者

新宿区内にて自殺や悩みごとに関することをGoogleで検索（パソコン、スマートフォン）

検索の単語によって【自殺リスク・緊急性】を判断し、適切な広告を表示する。（Google上で設定）

生活課題に関する検索「パワハラ」「お金がない」など（指定する単語は検討中）

自殺に関する検索「自殺・遺書」「自殺の方法」など自殺リスクの高い単語（指定する単語は検討中）

自殺リスクが低い → **(1)へ**

自殺リスクが高い → **(2)へ**

Google

(1)自殺リスクが低い

広告表示
<広告文>（検討中）
生活に困って苦しいあなたへ

相談窓口自動案内サイト

<説明文>（検討中）
あなたの困りごとの解決に役立つ相談窓口を自動で案内します

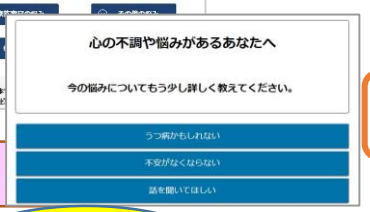
自動相談案内を開始する画面に、本サイトが新宿区の事業として実施されていることを明記する。

アンケート ①利用者情報

年代、性別、新宿区在住/在勤/在学の有無

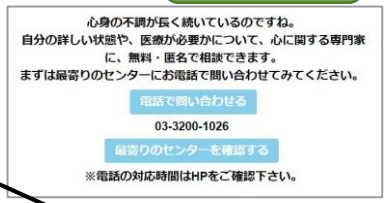
<説明文>（検討中）
どのようなお悩みですか

自身の悩みをフローチャート形式で選択



画面はイメージ（検討中）

相談窓口の表示



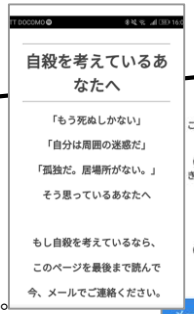
相談窓口の検索ではなく、「今すぐ死にたい」など【自殺リスク・緊急性】が高い場合

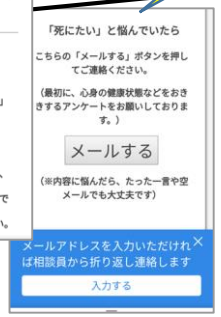
インターネットゲートキーパー（OVA相談サイト）

(2)自殺リスクが高い

広告表示
<広告文>（検討中）
死にたくなったあなたへ

サイト上からOVAの相談員にメールでの相談
<説明文>（検討中）
「自殺を考えているあなたへ。





本人の同意を確認できる表示等をしっかりと行う。

アンケート ②相談者情報

●委託先が収集する情報項目
【必須情報】ニックネームもしくは氏名（原則はニックネーム）、メールアドレス、年代、性別、新宿区在住/在勤/在学の有無

メール相談開始 ③相談内容

●委託先が収集する情報項目
【相談に応じて取得する情報】住所、電話番号、年齢、医療機関通院や同居人の有無等生活環境の把握に必要な情報

相談を開始する画面に下記を明記する。
・新宿区の事業であること
・本人同意をもとにメール相談を実施すること
・OVAが個人情報を適切に管理すること